

兵庫県立芦屋高等学校PTA

所在地：兵庫県芦屋市宮川町6-3 / 全校生徒数：生徒1034名

ボランティア活動を通じ地域とともに躍進する芦高

学校の特徴

創立以来 『自治、自由、創造』を教育綱領に掲げ、生徒の興味・関心・適正に応じた幅広い進路選択が可能な普通科単位制高校。

地域の特徴

芦屋市は、面積 18.47 km²、総人口 95,386 人（推計人口 H28.2.1 現在）。本校は市内宮川町に位置し、阪神・淡路大震災で多くの家屋が倒壊した際、体育館を中心に、地域の避難所として活動した。宮川町自治会とは、AUS Sクリーンアップ作戦・防災訓練などで共同した活動を行っている。

活動内容

保護者間の情報共有を図る取り組み

* 広報誌の発行

PTA会報（年3回）、芦高Times（年10回）

地域の中学校やオープン・ハイスクールでも配布し、学校広報の一環として活用。

* おやじの会

父親も気軽に参加できる会として平成 22 年に発足。父親ならではの発想で、「子どもも楽しく、おやじも楽しく」をモットーに、自由参加型の「県立芦屋高校おやじの会」は穏やかな繋がりを紡ぎながら、子ども・学校・地域を盛り上げている。



生徒の自学自習を支援

* 土曜日勉強会

芦屋高校卒の大学生から後輩のため勉強を教えたい、自分たちが体験・会得した受験のノウハウを伝えたいとの申し出を受け、卒業生たちの熱い思いにPTAも呼応し、平成 15 年にスタート。現在は、定期考査の直前や考査期間中の土曜日に年間 10 回程度開催、多くの先生方や保護者の協力を得て活動をしている。



毎回、生徒 100 名、大学生 10 名が参加し、28 年度より組織内に学習支援部を設置し、土曜日勉強会の運営にあたっている。

地域との連携協調を推進

* 防災訓練

阪神淡路大震災を教訓とし、自治会や保育所と一緒に避難訓練や津波避難シミュレーション作りをしている。



* AUS Sクリーンアップ作戦

自分たちが使う通学路をきれいにしようと始まったクリーンアップ作戦。在学生の 8 割が芦屋市以外から通学しており、地域を知らない子どもたちが増えたことが課題であり、平成 27 年度から、地域を知り地域に貢献することを目的に加え、活動区域を広げて清掃活動を行っている。

< 成 果 >

- ・ 広報紙の発行は、「学校での子どもの様子が見えてくる」と好評。また、記念祭での「おやじの模擬店」「喫茶店」は保護者の交流の場として毎年大盛況である。
- ・ 「土曜日勉強会」は、学習内容だけではなく、大学の様子を先輩に聞くことで生徒の役に立っている。
- ・ 「AUS Sクリーンアップ作戦」「防災訓練」の実施により、学校と地域の連携、生徒の地域への理解が図られている。

< 課 題 >

- ・ 地域とともに活動する PTA 会員の活動の充実。特に役員の希望が少ない現状を打破したい。
- ・ 震災の記憶を風化させることなく、今後予想される南海トラフ地震への対応などを、学校・PTA・地域で考え、活動に取り組みたい。

- ・ ・ ・ その他の活動 ・ ・ ・
- 進路講演会の開催
- 大学キャンパス見学会
- 記念祭への出店
- (喫茶コーナー・模擬店)
- 視察研修 など

【兵庫県教育委員会社会教育課】

【葛城市立當麻小学校PTA】 當麻の学びを高めるPTA活動

- 所在地：奈良県葛城市染野32 / 全校児童数：295名
- 地域の特徴：自然豊かな中山間地域の農村で、近年は駅周辺の宅地開発により新住民が増加している。校区内に奈良時代より続く古刹を中心とした門前町があり、様々な歴史と伝統が継承されている。
- 学校の特徴：学校は創立141年目で、昔から行政・地域の篤志家が学校を支援してきた歴史があり、地域が教育を大切にする土地柄である。学校でも「挨拶」「清掃」活動を中心に子どもたちの社会性の育成を重視し、地域連携時に協働しやすい体制づくりに取り組んでいる。

特徴的な活動について

①「誰もが参加しやすいPTA活動」の取組

- ・従来の活動内容を精査し、継続の必要性、隔年開催の可能性、新規事業の創出を行う。
→判断基準は、a)子どもたちのための活動か？ b)保護者の納得が得られるか？ c)子どもと一緒に楽しめるか？とする。
- ・「PTA体験制度」の導入。
→PTA版オープンスクールのようなもので、役員を引き受けるまでに複数のPTA活動を体験し、役員選出時に個々の適性に合った事業部を選択できる。
- ・「PTA投書箱」の設置。
→会員の考えや要望・提案、クラスや地域の課題を吸い上げられるようにする。

②「学級懇談会活性化」の取組

- ・「クラスPTAは全ての活動の基本」と位置づけ、学級懇談会を担任と保護者が教育について話し合える場とした。
→事前の保護者へのアンケートを基にテーマを設定し、参加目的を明確化した。

③「広報紙の工夫」で会員意識向上の取組

- ・広報紙は、a)PTA活動の記録、b)会員に対し、PTAが目指すビジョンを示す、c)読みたくなるもの、を基準に、編集方法等を見直し、企画内容を刷新した。

④地域学習支援「當麻のまなび」の取組

- ・米作りや伝統行事を学ぶ支援を通じ、子どもと保護者が郷土愛と地域のつながりを再認識。



←①「PTA逃走中」
保護者打ち合わせの様子

↓③PTA広報紙
「広報たいま」



← ②学級懇談会



→ ④教育講演会

成果について

○上記①～③の成果

- ・PTAへの理解が深まり、役員を選出がスムーズに進むようになった。
- ・積極的にPTA活動に参加する保護者が増えた。

○上記④の成果

- ・PTAが地域と学校の橋渡し役として機能した。
- ・地域で子どもたちを見守る意識が高まった。

課題について

○PTA活動に対する啓発の継続

- ・新しく入学してくる保護者や教職員に、PTA活動の意義を正しく伝えて行くことができるか？

○地域と学校を繋ぐキーマンの存在

- ・地域と学校の橋渡し役となるキーマン的な存在をPTA役員の中にどう育てていくか？

おはよう運動

登校時、通学路と正門前にて朝の挨拶。
毎週金曜（生徒会役員）、月1回育友会本部役員と学級委員、民生委員の皆様で交通指導をしています。

美化活動

年に三回程、校内清掃と玄関前花壇に花を植え明るい環境を作っています。

地域と協力

- ・楠見地区一斉清掃 ・楠見文化の祭りへの参加
- ・地域防災活動 など

○成果

朝の挨拶を交わす大事さや、地域の大人達にも見守られているということが、生徒たちの生活からも感じられる。

○課題

地域などと連携を保つ活動を続け、さらなる活動の活性化を。

所在地:和歌山県和歌山市善明寺706番地
地域の特徴:農業地域と住宅地が共存している
学校の特徴:知を磨き、心を養い、体を鍛えます
全校生徒数:429人

おはよう運動

美化活動



鳥取市立東郷小学校PTA

所在地：鳥取県鳥取市 / 全校児童数：25名

地域で育む生きる力！ ～保護者・地域・学校の連携で未来の担い手を育てる活動の実施！

学校の特徴

明治6年創立。平成26年度に創立140周年を迎えた。平成17年から鳥取市小規模校転入制度により、地域外からの通学児童を受入れており、今年度は全児童の約4分の1を占めている。

地域の特徴

千代川の支流である有富川に沿った谷あいの東郷地域は、小高い山々と田園に囲まれ、また工業団地を有した緑豊かな地域である。学校は、地域のほぼ中央、鳥取市中心市街地から南西約6kmに位置している。

活動内容

特徴的な活動

【東郷みらい塾】

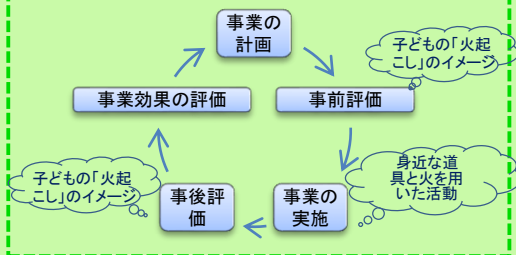
【開催時期】10月～11月

『生きる力』を見直し、地域の未来について考えを深める事業

○工夫している点：事業をデザインし、事前に大人のスキルアップ研修を実施。事後は、事業評価を行い、レポートとしてまとめ、関係各所へ配布

○事業を推進するための体制：PTAが主体となり、公民館、子ども会、自主防災会等地域の多様な団体と連携して実施

～事業デザイン～「火を有効活用するための周辺技術の習得」に向けて



○具体的活動：
・炭や薪による火の活用
・ロープワーク、竹細工、野外調理、自主防災に関する技術の習得
・地域の魅力再発見ウォーキング



成果

- ・多くの組織の協働で実施した本事業は、地域での共助の土台となり、子どもの自主性や子どもに対する大人の関わり方について考える機会となった。事後評価を実施したことで、子どもが何を体験したかではなく、経験をこれから独自にアレンジできるかということが重要であると、地域みんなで再確認できた。
- ・地域内の各組織が、手を取り合う体制の重要性を強く認識でき、これからの新たな展開の足がかりになった。

【誕生祭】

【開催時期】8月23日、24日

～創立140周年記念事業～

学校を憩いの場とし、人と人とのつながりの中で、地域の方、子どもたちの心に『ふるさと愛』を育む記念行事

実施内容

<前日祭>

○子ども会主催

- ・ペットボトルいかだレース

○おやじの会主催

- ・校内キャンプ・お化け屋敷

4,5年生

<当日祭>

OPTA・学校主催

- ・セレモニー
- ・同窓会の部屋
- ・在校生による催し
- ・給食試食会 等

<あべこべ教室>



「日常の立場を逆転！
子ども先生と大人生徒」

【その他の活動】

総会、参観日、市PTA連合会球技大会、交通安全指導、バザー等諸行事へ9割～10割の参加がある。

課題

- ・少ない会員数で、自主的に無理なく継続的に活動をしていくための組織づくりや活動の進め方の工夫をしていくこと。

【鳥取県教育委員会小中学校課】

奥出雲町立馬木小学校PTA

所在地：島根県仁多郡奥出雲町大馬木1857-1 / 全校児童数：56人

地域の特徴

小規模校という特徴もあり、地域の学校に対する関心も高く、協力意識も高い。学校と地域が非常に密接な関係をもちながら様々な場面で連携・協働体制をもって活動を推進している。

学校の特徴

「自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる馬木の子の育成」を学校教育目標に掲げ、地域の「教育力」を生かした教育の推進ということで、様々な場面で地域と連携を図った取組を図っている。

特徴的な活動について

◎授業参観・PTA総会・学級懇談会等は保護者出席率がほぼ100%

・PTA会員の意識が非常に高く、PTA行事や学校行事に関して保護者の参加率が非常に高く、様々な活動への協力体制が整っている。

◎毎年PTA活動に関するアンケートを実施し、保護者に公表・次年度の取組に還元

・毎年、PTA活動に関するアンケートを実施。集計結果は全保護者に公表するとともに、次年度のPTA活動に申し送り、PTA活動の改善を図っている。

◎「馬木シンポジウム」と題し、地域の公民館と連携し人権・同和教育や命・性に関する学習を地域をあげて展開

・PTA研修会を「馬木シンポジウム」と称し、地域の公民館と連携をしながら地域とともに学ぶ場として設定。地域からも多くの参加者がある。

◎PTAをあげて「ノーメディアチャレンジ」の取組を展開。「親子読書」や「親子で体幹トレーニング」のメニューを準備

・「ノーメディアチャレンジ」では、PTAが主体となって「親子読書」や「親子で体幹トレーニング」のメニューを準備し、親子で協力しながらメディアから離れる取組を展開。



成果

◎会員がPTA活動や教育活動に対して非常に協力的であり、誰もで頑張ろうという意識が醸成されている。

◎地域との連携がしっかりととれており、PTAが地域をつなぐ重要なハブとなっている。

課題

◎PTA会員は年々減少しており、全員参加とはいえ限られた人数での取組となっている。

◎会員数の減少に伴い、活動費も少なくなってきた。

津山市立西幼稚園PTA

所在地:岡山県津山市小田中 / 全園児数:11名

会員一人一人の思いを取り入れたPTA活動の実施!

学校の特徴

全園児11名の小規模園であるが、友だちと豊かにかわりながら、主体的に生活や遊びに取り組む幼児の育成を図っている。

地域の特徴

津山城の西側に位置する城西地区は、自然豊かで、たくさんの歴史的・文化的資源があり、ふるさとに愛着のもてる子どもが育っている。保護者、地域ともに教育活動に協力的であり、地域ぐるみの子育てができている。

活動内容

特徴的な活動

○運営の効率化や参加しやすい環境づくり

育メンプロジェクト

○平成23年度より「もっと子どもにかかわろう」を合い言葉に、お父さんたちが大活躍しています。「育メンボックス」に入った議題について和やかに話し合い、すぐの実行します。園児と遊んだり、飼育小屋の修理をしたりもしています。母親任せになりがちな子育てですが、子どもの笑顔を見ることで、子育ての喜びを実感しています。



お父さん手作りの室内滑り台は子どもたちの大好きな遊具です。

段ボール製の滑り台

お父さんも保育参加で読み聞かせをしています。



保育参加

成果

- 「無理なく、楽しく、子どもを軸にして」少人数でもできる活動をみんなでしている。「みんな我が子」という思いを保護者の誰もが持つようになり、育児を楽しむ余裕もみられるようになってきた。
- 毎年、保育園や小学校と一緒に地域行事へ親子で参加している。地域の活性化につながるると同時に、地域の人たちにも「地域の子どもは地域で育てよう」「子どもたちに地域文化の伝承をしていこう」という気持ちが定着してきている。

ママランチ

○母親を主体にした食育活動で、園児が育てた野菜を使って「愛情・栄養たっぷり、安心・安全・安価な食事」を作り、みんなで同じものを食べる経験をします。(年間4回OBランチ含)



(献立名)

おにぎらず(手巻き)、みそ汁、ごぼうとベーコンのきんぴら、カボチャ白玉フルーツポンチ

お世話になっている地域のみなさんや、小学校の先生を招待しています。

みんなで仲良く調理をして、盛りつけも工夫し、食べる意欲を高めます。1学期のママランチは、保健師さん、栄養士さん、愛育栄養委員さんの協力もあります。



ゲストのみなさんと

少人数の強みを生かし、全員が役員になっています。月1回の役員会では、一人一人の意見を大切に計画や反省を行い、次に生かすようにしています。

また、園内に「みんなの部屋」を設置し、ボランティアやママランチの打合せ等に自由で使用できるようにしています。

井戸端会議が盛り上がり、いつも、笑いではちきれそうです。時には、子育ての悩みも聞いてもらいます。赤ちゃんも畳スペースでスヤスヤ。



「お涼み会」の準備

○その他の活動

- ☆行事の企画・運営
- ☆他園との交流親子バス遠足、お涼み会、ワークショップ、同窓会「ようこそ1年生」もちつき、クリスマス会、お別れ会
- ☆びかびかボランティア、のびのびボランティア安全・安心ボランティア、お話ボランティア

課題

- ・ 年々園児数が減り、PTA会員が少人数なので資金源も少なく、内容の縮減化を図らざるを得ない状況である。
- ・ 行事等には全員参加が基本なので、会員の意識は高いが、一人一人の負担が大きい。

東広島市立三津小学校PTA

所在地:広島県東広島市 / 全校生徒数: 児童142名

地域と連携した安心・安全な教育環境づくり！

【特徴的な活動について】

円滑な運営と発展を図るため、本部役員の中に幹事役員という活動の助言を行う役職を置くとともに、会長経験者が顧問となって、活動に対し指導助言を行っている。また、役員が住民自治組織の構成員として参加し、PTA活動と連携した活動を実施している。地域の民間活動団体（民生委員児童委員、社会福祉協議会、防犯ボランティア）とも密に連携し、児童の健全育成の観点から、協働的に防災活動避難マップづくり、安全パトロール等の活動を行っている。

【成果と課題】

○教職員、PTA、住民自治組織、地域の民間活動団体などが連携・協力しながら学校行事や地域行事に取り組むことで、児童にとって安心・安全な環境づくりに寄与し、学校と地域のつなぎ役となって、地域を挙げて教育を行う環境を生み出している。

○PTA活動や地域活動に熱心に取り組んでくださる保護者が多いが、今後一層協力者を増やしていくことが必要である。

所在地：広島県東広島市安芸津町

地域の特徴：広島県の酒の発祥地でもあり、杜氏の里としても有名である。温暖な気候でミカンなどの柑橘類やびわ、ジャガイモ等の収穫が多い。またカキ養殖も盛んである。

学校の特徴：「自ら学び 力合わせて とともにのびようとし 最後までやり抜く子ども」を教育目標に地域と協働して教育活動を進めている。



防災活動避難マップづくり



自転車教室



三津大川環境整備



マラソン大会のコース警備